

第 19 回 垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 会議録

1.	日 時	: 令和 5 年 11 月 20 日 (月) 10:40 ~ 11:10
2.	場 所	: 垂水市役所 3 階 第一会議室
3.	会 次 第	: 1 開 会 2 審 議 (1) 第 18 回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員意見 に対する回答について (報告) 3 閉 会
4.	出 席 者	: ・佐野 雅昭 委員 ・小栗 有子 委員 ・堀之内 学 委員 ・福里 由加 委員 ・森 真由美 委員 ・川筋 貴子 委員 ・村野 剛 委員 ・森 千秋 委員 ・宮下 直弥 委員 ・川井田 守 委員 ・鶴飼 康弘 委員
5.	欠 席 者	: ・崎野 剛 委員 ・川崎 あさ子 委員 ・堂藺 一仁 委員 ・市渡 しのぶ 委員
6.	事 務 局	: ・草野 課長 ・二川 総括監 ・菅 主査 ・福永 主任主事 ・隈崎 主事

- 事務局 1 … それでは引き続き、第 19 回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催いたします。
委員の皆様におかれましては、先ほど開催しました審議会から引き続きの参加となりますが、よろしくお願いいたします。
始めに、委員の出席状況について、ご報告申し上げます。
先ほどの総合開発審議会でも申し上げましたとおり、委員総数 15 名のうち、崎野委員、川崎委員、堂藺委員、市渡委員が欠席でございます。
11 名の出席で、審議会設置要綱第 6 条第 2 項に定める定足数を満たしていることから、本審議会が成立したことを報告いたします。
なお、本審議会は、先ほどと同様に、垂水市会議録作成に関する規程第 3 条にありますとおり、全文記録とし、発言者の氏名をふせた形で会議録の作成を行い、ホームページ上で公開する予定としておりますのでご承知おきください。
それでは審議に入ります。
ここから先の議事進行につきましては、審議会設置要綱第 5 条第 3 項の規定により、引き続き A 会長にお願いいたします。
A 会長よろしくお願いいたします。
- 議長 (A 会長) … はい。議長を務めさせていただきます、A でございます。よろしくお願いいたします。

それでは審議に入ります。

審議事項の1番目、「第18回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員意見に対する回答について(報告)」ということでございます。

事務局の方から説明をお願いいたします。

事務局 2

...

よろしくお願い致します。

始めに、配布資料の確認ですが、まず、会次第、次に、右上に資料1と記載された横向きの冊子となります。

審議事項の説明に入らせていただく前に、前回の振り返りとして、今年8月に開催しました、第18回審議会のポイントを口頭で説明させていただきます。

1つ目が、第2期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度実施事業について、外部評価として委員の皆様から御意見を頂戴いたしました。

委員の皆様から頂戴しました御意見に対する市としての回答を取りまとめましたので、本日の審議事項(1)において、報告させていただきます。

2つ目が、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の令和4年度実施事業について、担当課において実施した効果検証の結果を報告させていただきました。

以上、前回の審議会のポイントとなります。

それでは、本日の審議事項の説明に入らせていただきますので、お手元に資料1の準備をお願いします。

前回、8月2日に開催しました、第18回まち・ひと・しごと創生総合戦略におきまして、委員の皆様からいただいた御意見、審議会終了後に御提出いただいた意見書に対する市としての回答を取りまとめましたものが資料1となります。

委員の皆様には、意見書の提出に御協力いただき、ありがとうございました。

資料1の表紙をめくっていただき、1ページをご覧ください。

資料の見方ですが、左から2列目は第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の具体的な事業名、左から3列目は具体的な事業の担当課名、左から4列目は委員の皆様からいただいた意見内容、一番右の列は意見内容に対する担当課の回答となっており、1ページから18ページまでが回答内容となります。

本日は、個別の回答内容の説明は行いませんので、あともってお目通しくさせていただきますよう、お願いいたします。

なお、皆様からいただいた御意見については、今後の取組の参考となるよう、全庁的に共有させていただいたところでございます。

資料に基づく説明は以上となりますので、よろしくお願い致します。

議長

...

はいありがとうございます。

(A 会長)

こちら資料がございまして、これに委員の皆様からのご意見、それに対する回答がまとめられております。

非常に沢山ございますので、逐一の説明ということはないということでございますけども、何かこれについて、特に気になることとか、何かございましたら、委員の皆様からご質問、ご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

これについては、意見と回答のプロセスがありまして、これはまた次の事業へフィードバックされていくということになるのでしょうか。

何か答えっぱなしではなくて、どんどん生かされていくのかということですか。

事務局 2	…	ありがとうございます。 今おっしゃっていただいたとおり、きちんとフィードバックを行いまして、担当課を中心に全庁的に取組むとともに、次回の参考にさせていただきます。
事務局 3	…	今ちょっと担当の方から回答がありましたけれども、特に今回の委員の皆様より頂いた中身と、我々、事務局としても1番課題として感じているのが、それぞれの各事業に定める KPI の設定をどういうふうにしていくかということと、KPI の設定にあたってですけど、まずは事業の内容をどういう形で設定していくかということも含めて、この総合戦略の部分において、それぞれの各所管に、課題意識を持った形、そして問題意識を持った形で取り組んで欲しいところを、今回、委員の皆様方から意見をいただいた中で伝えたいところがございます。
議長 (A 会長)	…	ありがとうございます。 ナンバー40 のその他のところですね。 その辺に、KPI に関する事とか、目標設定についてとか、いろいろご意見いただいております。 それはぜひ、生かしていただいて、より実効性のある目標と KPI の組み合わせなりにしていただきたいと思います。 他にございますでしょうか。 お願いします。
B 委員	…	全体的に、ざっと拝見して思ったところなんですけれども、どうしても垂水市は小さな自治体なので、国の支援、補助事業とかいろいろあると思うんですけど、それがどうしても、なんていうか、枷をはめているというか、思うようにできない部分というのがあると思うんです。 そういう国の事業を使って、やることもさることながら、できることならば、全庁的に取り込めないのかなあと。 各課でやるっていうよりも、関連するところは、極論を言えば、この回答の外枠でちょっと連携した動きっていうのがあるのもっと効果的な活動ができるのではないかなあと考えたところでした。 既存の事業をするっていうよりも、創出するというか、そんな形のことのできればいいのかなと思ったところでした。 これは、全体で感じたところとして、ちょっと述べさせていただきました。

議長 (A 会長)	<p>… はい、ありがとうございます。</p> <p>各課の仕事もちろんあるということでございましょうけども、加えて、全体的な大きな枠組みでやるべきこともあるし、そういった形でもっと効率的に進んでいくのではないかというようなサジェスションだったと思いますけども、何かございますか。</p>
事務局 3	<p>… ありがとうございます。</p> <p>やはり、そういった形で、どのような所管課が携わっているかというところが見えてくると、やはり市民の皆様方にも、より一層そういった事業がよく見えてくると思います。</p> <p>特に、子育て支援という部分においては、福祉課、保健課そして、企画政策課、土木課というところが少なからず携わってくるところでございまして、そういうところが見える化されてくると、より一層、皆様方に事業の理解が進むのではないかと思いますので、それについては、庁内横断的に連携して、情報共有を図りたいと思います。</p>
議長 (A 委員)	<p>… ありがとうございます。</p> <p>縦割りの弊害っていうのが、ここでもあるのかないのか、私はよくわかりませんが、そこをなるべく垣根を下げて、連携しながら進めると、新しいアイデアとか、モデルが出てくるのかなと思いますので、ぜひそこら辺も取り組んでいただければと思います。</p> <p>他はよろしいでしょうか。</p>
C 委員	<p>… 意見として皆さん出されていて、ちょっと私が出したところで言うと、2ページのこの「鳥獣対策」の4番については、本当にもう、1ヶ月ぐらい前にもまた別のシカを目撃情報っていうのもあって、すごく大きな角があったとのことでした。</p> <p>これについては、鹿児島大学の方にある、人感センサーみたいなものに、写真がやっぱり映っていたというところもあるので、ここに関しては、農林課や、鹿大との連携というところが必要なのかなと思うところでした。</p> <p>そして、3ページの7の「創業支援事業」のマリオットのことも述べさしていただいたんですが、やはりマリオットとの連携というところで、この8にも関連してくるんですが、マリオットのお客さんが、どういった趣旨でこの垂水市に来てくださっているのかが、市民として本当に知りたいところです。</p> <p>やっぱり、自分たちは住んでいると当たり前のことだから、うちのまちは何もないよっていう、悲観するような気持ちがやっぱりあるんですが、逆に、いろんな他の方から聞いた、こういうところもあるよというのが、気づきにもなります。</p> <p>また、ここは行政においても、マリオットの支配人さんってのは、確か垂水市出身で、尾脇市長とも同級生で、すごく親しい、そういうことを聞きましたので、ぜひ本当に、マリオットさんに意見集約していただいて、観光課なり、企画なりと連携をしていただければいいのかなと、そんなに難しいことではないと思うので。</p> <p>ぜひ、協議をして、このようなアンケート等々も取り組んでもらえたらなと思います。</p>

そして、その下の9番「企業立地促進事業」については、熊本の例もあげたんですが、先日、台湾、薩摩川内とかの、フォーラムがあって、ちょっとニュースで聞いたのですが、その時にも、この熊本の半導体メーカーの人が、人材の活用という点では鹿児島にも波及してくるのではないかというようなことを言っており、やはり、企業誘致という点においては、この自治体にも、やっぱり企業とか、施設等々が入ってくれば、地域活性に繋がると思っていますので、ここには力を入れていただきたいなと思います。

そして、4ページの「定住促進等」についてですが、この空き家バンクについて、別件で、私自身、私用で空き家を探すということをしていまして、企画政策課の方にお話を伺ったら、今、この空き家バンクの登録件数を、ホームページで探してみてもみたんですが、賃貸物件と、借家と売り家の状況を少ししか見れず、これは多分、一部なんだろうなと思って見ていたのですが、20件ぐらいしか表示されてなくて、全く周知がされてないというか、登録されてないという状況があるので、これ以外に空き家対策とかいうところについては、もう少し、ここの回答にもありますとおり、いろんなところでお知らせ等していくということなんですが、やはりここをもう少し強化していかないと、ニーズはあるんでしょうけど、空き家が増える一方だと思います。

私の家の周りにも、結構空き家がありますが、空き家バンクにおそらく登録していないというところがあって、まずそれをどうするのかっていうところから、市民の皆さん、多分こっちに住んでない人等もいらっしゃると思うので、やっぱりとにかく広報をしてまず周知していく。

そして、最低でも次の年度ぐらいから、今20件弱ですので、もう少しこの登録数を増やしていくという試みは必要なのかなと思いました。

あとは、5ページの「地域おこし協力隊」については、来年度からの始動に向けてということなので、具体的にまたどういうことをされるのかがわかたらまた教えてもらいたいなと思います。

あとは、全体的なことで、6ページの19番「イメージアップ事業」に関しては、鹿屋市の例を挙げましたが、やはり、広報活動という点で、もう少しYouTubeなり、他のSNS等の広報活動を利用していくと、やっぱり若い世代とかに対してはいいアピールになると思います。

でも、昨年から、LINEの公式アプリができて、これは大変いい試みで、私のうちも、家族みんなに登録しているのですが、いろんなお知らせを、ここもこれに加えてSNS等々をYouTubeも含め、観光課なり広報課なりが連携してアピールしていくというのは、必要なのかなと思います。

せっかく垂水市ではたくさんいい政策をしているのですが、それを知らないで、皆さん、なかなか難しく、「何をしているの？」ということに繋がってきってしまうので、やはり広報活動は強化していただきたいと思います。

あと、医療関係ですが、先日、私の知り合いの子どもが高熱を出し、日曜当番医が垂水中央病院の担当だったので、問い合わせをしたら、子どもの高熱は診てくれないということがあったみたいです。

それで、そこはちょっとどういった経緯でそういうことだったかわからないのですが、結局、その人は鹿屋市の当番医の方へ行ったということでした。

そこはやはり、中央病院、公的医療機関として、そういった市民の受け入れをしていただきたいというふうに非常に強く感じたところですよ。

13 ページの「森林環境譲与税」のところで、これに関して、直接関係ないのですが、先日の南日本新聞等でも発表がありましたように、鹿児島県初の林業大学が、始良市と垂水市において、設置の方向で検討しているという報道を聞きました。

私たち住民の方も、大野地区においても、振興会長には、先日、ちょっと行政の方から説明があったということだったんですが、まだ具体的にどうなるのかというところが見えてこず、また、鹿大の演習林の方に聞いても、ちょっとまだはつきりわからない、何とも言えないというような答え方でありました。

やっぱり、大学誘致っていうことは大変いいことで、地域活性にも繋がっていくことだと思いますので、やはりそこは、地域とあとは、主となる演習林の方と、十分に協議、理解をしてもらった上で、設置ということが望ましいと思いますので、行政においては、引き続き、詳しい説明等々はつきり決まり次第、今途中でも話せることもあり、話せないこともあるのですが、地域の皆さんの意見というものを大事にして取り組んでもらえたらなと思います。

すいません長くなりました。以上です。

議長
(A 会長)

… はいありがとうございます。
何か事務局の方でコメントがございましたらお願いします。

事務局 3

… はい。今頂きましたご意見につきまして、所管課の方へ繋ぎ、今後の業務の方にしっかりと反映させていきたいというふうに思っております。

また、市民の皆様への情報共有というところは、やはり、市報でございますとか、LINE 等、そういったところでしっかりとご提示させていただきたいというふうに思っております。

議長
(A 会長)

… はい。ありがとうございました。
私からの意見というものでもないんですけども、ちょこちょこ出てきた回答に、やっぱり横串を入れるというか、先ほどご意見ありましたが、各担当課ではなく、全体的に、もう少し市全体として取り組むという発想がございました。

手前ごとではありますが、今皆さんの方からもいろいろありましたけども、大学をもっと利用していただいているのかなと思います。

こんな既存の枠組みにとらわれなくても、もっと低コストで楽な

やり方で、我々いくらでもご協力はできますし、そういうやり方はあるかなというふうにも思います。

これは、垂高の問題にも関わるのですが、高校なんかで、我々、大学側へ声をかけていただければ、すぐ来て、いろんなお話を高校生にもしてあげられますし、それは別に、進学ということだけではなく、職業、キャリアを作っていくってというようなことでも、少なくとも、農・水・工学部あたりの、実際に産業に深く関わっている先生方であれば、「ここでどういう産業をやっていくのだろうか」とか、大学の専門家から見た、様々な話を高校生にしてあげられる気がします。

我々、出前授業っていうと、色々な高校で行ってございまして、私も年間に県内外含め10校ぐらい、高校へ行ってござい、先週も出水中央高校に行って、水産、食品産業で働くって意味とか、そんな話もさせていただいております。

また、高校もそうですし、森林大学の話もありましたけど、そこまですると大事で、大変やということで、実はD先生もおられるのですが、もう別の形で、公開講座みたいな形とか、垂水市のやる気のある人を集めて、もうちょっとこじんまりとした、色々な勉強会を開く等、そういうものでも、お声掛けいただければ、ご協力ができるかなと思います。

とにかく、大学にある専門的な知見とかは、実はほとんど埋もれているんです。

なので、私個人的に言うと、垂水市の企業さんとか、或いは漁協さんなんかには直接行って、色々一緒に仕事をさせていただいておりますし、垂水市漁協さんのカンパチの輸出とか、あるいは、グローバルオーシャンワークスさんであるとか、あるいはそこへのリクルートといった、人材の提供なんかもできていくようなこともあります。

もちろん、個別に色々な協力関係は既にあるんでしょうけど、だとしても、市の方でも、そういったいろんな分野であるとおもうので、うまくまとめるというか、少なくとも、どんなことがあるのかっていうのは把握していただいて、何かまとまった形で役立てていただければ、我々としても嬉しいかなと思います。

我々も地域へ貢献したいという気持ちでいつも仕事をしていますので、こういう場もそうなのですが、専門的なところでも、貢献できますよというところがございます。

この間もCさんへお願いして、漁業さんのところで学生のお勉強をさせてもらいましたが、我々も勉強させてもらうので、逆に我々も何かお返しはさせていただきたいというふうには思っておりますので、ぜひ使っていただければ。

D 委員いかがでしょう。

D 委員

...

はい、ありがとうございます。

今の大学の活用に関して、私は、垂水市は上手く使っているなというふうには個人的には見ております。

これから垂水市へ期待したいことは、やはり、これまでとは違う

使い方っていうことをぜひ、開拓していただくといいのかなと思います。

多分、一方的に大学の知見を提供するというより、一緒に何か作っていくとか、何か新しい価値を見出していくとか、そういったところをぜひ、期待したいなということが1つです。

また、先ほど会長の方からあった、横串という話が出てきたんですけども、6ページの皆様も指摘をされましたけども、垂水市のイメージアップ事業は、横串を使用して、情報発信するところになるのではないかなというふうに考えております。

回答のところにある、PR戦略はということ主語にしているところでちょっと確認なのですが、このPR戦略は、この一文を読むと、市民に対してのPR戦略とも読みとれます。

これについては、そういった解釈でいいのか。

このように、一番初めに、市におけるPR戦略はこうだということを書き込めること自体は素晴らしいと思うんですけども、それが多分、PRとは一般的に、垂水の外に市を周知していくということだと思うのですが、この文章を見る限り、市民に対する郷土愛や誇りを醸成するPRというふうにも受けとれるし、域内循環を促すというための市も含めたPRなのかとも思います。

そこら辺については、どういうふうに、その戦略を読み取ったらいいのかということが1つです。

また、もしかしたらそこまで考えていないということもあると思うのですが、市民に対する郷土愛や誇りっていうものが、自然発生的に醸成されていくのかということについては、やはり、やや弱い部分があるのではないかなというふうに思っております。

先ほど、九つの彩りという話をしましたが、かつては各地区に非常に力があって、その地区の活動の中で醸成されてきたものがあったと思います。

それが今、相対的に弱くなっているとしたら、新たな形で郷土愛や誇りをどうやって形成していくのか。

それはもしかしたら、学校の中かもしれないけれども、これは多分、PR戦略だけではなくて、やはり、自主的な戦略が必要ではないかなということも含めて、PRをするっていうことに目を引いたところなんです。

あと、域内経済というのは、近年どの自治体でも重視しているところなのですが、色々、産業振興の策、就労の策は出ているんですけども、全体として、垂水市の経済がどういうふうに回ればいいのかっていうグランドデザインがよく見えてこないというところなんです。

だから、それがPRという形で、もし表現ができるのであれば、それは必要ではないかなと思います。

あと、「人と経済が流入し」というところに関しては、先ほど地域おこし協力隊の導入ということで、垂水市は、後発に入れるということなので、これまでの他の市町村の何か反省点等の課題も含めて、後発で入れることの価値が高まるような形でぜひやっていただきたい

		<p>いなということを思います。 ちょっと一つの質問がありましたけども、以上です。</p>
議長 (A 会長)	...	<p>はい。 ありがとうございます。 事務局の方から何かコメント等ありますでしょうか。</p>
事務局 3	...	<p>その PR 戦略部分なのですが、その中にあります、「市民に対して郷土愛や誇りを醸成し」というところがございます。 こちらについて、行き着く先は、やはり、市長が再三申し上げております、「住んでよかったまちづくり」というところに繋がってくるというところがございます。 この部分において、まずは、我々行政側として、この PR という部分は、様々な施策において、どのような市民に対して施策を行っているかというところをまず知っていただく。 そういったところにおいて、また市民協働で政策を行うというところにおいて、やはり市民に、いかにして知らせていくかというところが一番重要だというふうに思っておりますので、ここへ戦略という言葉を使用させていただいたところがございます。 あと、域内経済についてですけれども、こちらについては、やはり様々な施策において、先ほど、補助金がなかなかうまく使われていないのではないかという指摘がございました。 そういった部分において、いかに地域経済の循環という部分に、市が行う施策が反映されるのかというところにおいて、やはり、しっかり、我々行政側としては課題を持って取り組まなければならないと思っておりますし、そういう意識を持ってやっていかなければならないというふうに思っております。 以上です。</p>
議長 (A 会長)	...	<p>ありがとうございました。 その他いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは、事務局におかれましては、このような皆様からご意見を踏まえまして、引き続き、地方創生の取り組みを進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。 それから、審議事項のその 2、その他ございますけれども、委員の皆様から何かその他で審議等ございますでしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは審議事項はすべて終了をいたしましたので、議長の任を解かせていただきます。 事務局へお返しいたします。</p>
事務局 1	...	<p>ありがとうございました。 本日は、多くの意見をいただきましたので、また企画政策課の方で精査をして、各課へフィードバックを行い、今後の市政に反映させていただきたいと思っております。 それでは、以上で第 19 回垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を閉会いたします。 本日はお忙しいところ、ありがとうございました。</p>

